

Annual Report

2023

北上信用金庫

北上信用金庫のミニディスクロージャー

まるみえ

# 見えしんきん

半期情報開示 (2023年9月末)

この街と生きていく。



# 北上信用金庫



信用金庫イメージキャラクター  
信ちゃん鬼剣舞 Ver



# 業績のご案内

## ◆ 預金積金及び貸出金の状況

### ■ 預金の状況

2023年9月期の預金積金残高は、108,196百万円(前年同月比390百万円増加)となりました。

預金積金残高のうち個人預金が66.73%を占めております。

### ■ 貸出金の状況

2023年9月期の貸出金残高は、51,957百万円(前年同月比10百万円増加)となりました。

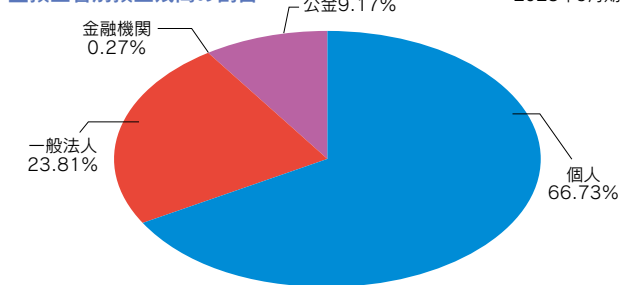
業種にかたよることなく、幅広く貸出を行うことで地域の発展や活性化に活かされるよう努めております。

### ■ 預金積金・貸出金残高の推移

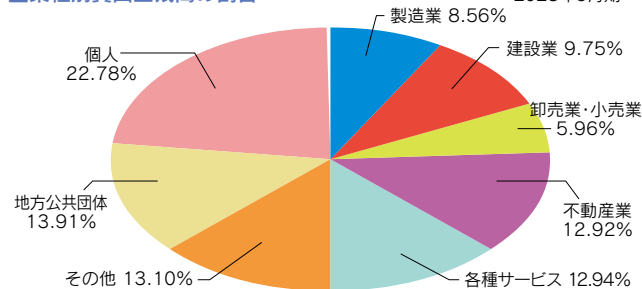


地元のお客様よりお預入れいただいた大切なご預金は地元で事業を営む事業者や個人のお客様にご融資することで、地域社会に還元しております。

### ■ 預金者別預金残高の割合

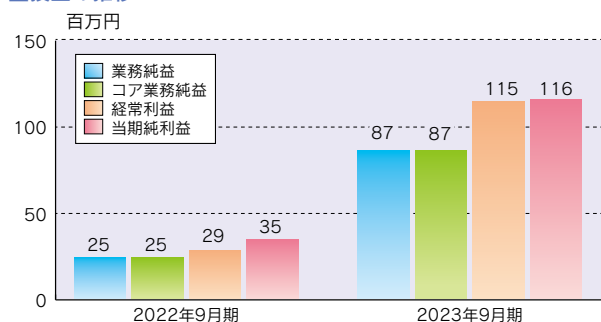


### ■ 業種別貸出金残高の割合



## ◆ 損益の状況

### ■ 損益の推移



## 安定した収益の確保に努めております。

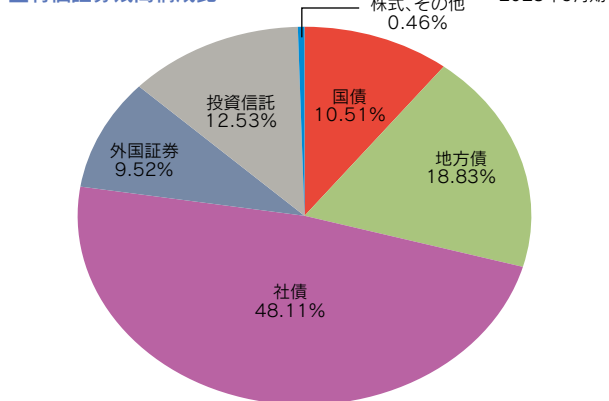
本業の利益を示す業務純益は87百万円、コア業務純益は87百万円(投資信託解約損益を除くコア業務純益は87百万円)となったほか、経常利益は115百万円、当期純利益は116百万円を計上しました。

地元の事業者や個人のお客様の資金需要にお応えするとともに、各種リスク管理を徹底し、今後も安定的な収益確保に取り組んでまいります。

※「コア業務純益」とは、業務純益から一般貸倒引当金繰入額および国債等債券損益を除いたものです。

## ◆ 有価証券の時価情報

### ■ 有価証券残高構成比



### ■ 子会社・子法人等株式及び関連法人等株式

該当ございません。

### ■ 売買目的有価証券

該当ございません。

## 市場関連リスクを考慮し、安全な運用に心がけております。

### ■ その他有価証券

(単位: 百万円)

	2023年9月期			
	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
その他有価証券	26,286	▲1,107	238	1,345
株式	2	0	0	-
債券	20,304	▲767	75	842
その他	5,979	▲340	162	502

- 貸借対照表計上額は、2023年9月末における市場価格等に基づいております。
- 上記の「その他」は、信金中央金庫の優先出資証券、日高見ファンド、投資信託及び外国証券です。
- 「評価差額」は取得原価(償却原価)と貸借対照表計上額との差額を計上しております。

### ■ 満期保有目的の債券

(単位: 百万円)

	2023年9月期			
	貸借対照表計上額	差額	うち益	うち損
満期保有目的の債券	1,629	6	28	21

- 「差額」は、貸借対照表計上額と時価との差額を計上しております。
- 時価は、2023年9月末における市場価格等に基づいております。

### ■ 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券

(単位: 百万円)

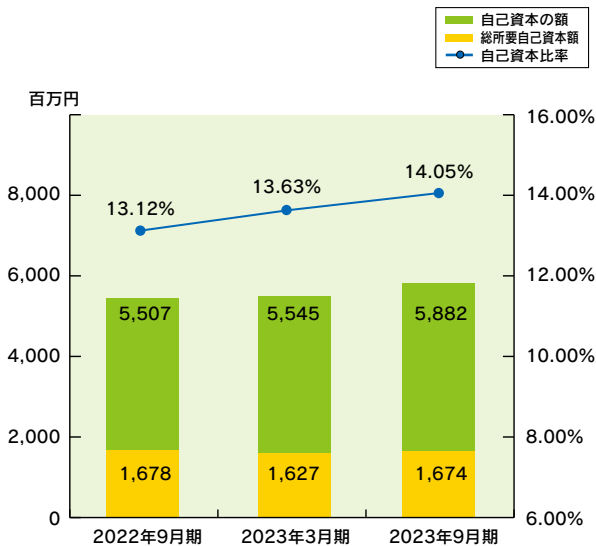
	2023年9月期	
	貸借対照表計上額	
その他有価証券 非上場株式		9

# 自己資本の充実の状況等について

## ◆ 自己資本の充実の状況

2023年9月期自己資本比率は14.05%と、国内基準の4%、国際基準の8%を超えた水準を維持しております。十分な健全性を確保しておりますので、皆様に安心してお取引いただける経営内容となっております。

### ■ 自己資本額・総所要自己資本額・自己資本比率の推移



## ■ 自己資本に関する事項

(単位：百万円)

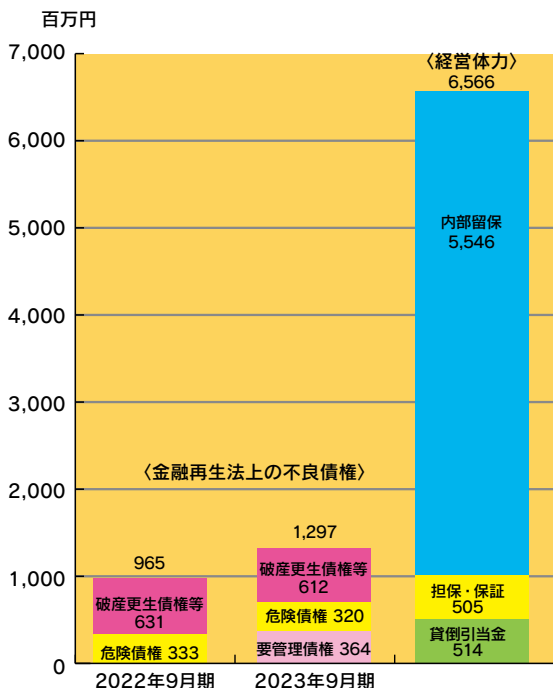
項目	2023年3月期	2023年9月期
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	5,786	5,898
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	241	16
自己資本の額 ((イ)-(ロ)) (ハ)	5,545	5,882
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	40,677	41,854
自己資本比率 ((ハ)/(ニ))	13.63%	14.05%
信用リスクに対する所要自己資本の額	1,536	1,583
オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額	91	91
単体総所要自己資本の額	1,627	1,674

(注) 「信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫及び信用金庫連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第21号)」に基づき算出しております。なお、当金庫は国内基準により自己資本比率を算出しております。

- ※「コア資本」とは、会員の皆様からお預かりしている出資金や、一般貸倒引当金などが該当します。
- ※「リスクアセット」とは、オンバランス・オフバランスの各資産項目にリスク・ウェイト(資産ごとにリスクの割合によって定められた掛目)を乗じて算出した額で、自己資本比率の分母になります。
- ※「オペレーショナル・リスク」とは、金融機関の業務の過程、役職員の活動、もしくはシステムが不適切である事などにより損失を被るリスクのことです。当金庫では基礎的手法を採用して算出しております。
- ※「総所要自己資本の額」とは、自己資本比率分母の額に4%を乗じて算出した額のことです。

## ◆ 金融再生法ベースの債務者区分による開示

### ■ 金融再生法上の不良債権と経営体力



## 資産の健全性向上を図っております。

金融再生法開示による不良債権は、前年同月比332百万円増加しました。また、不良債権比率は0.64ポイント上昇して2.49%となりました。これらの不良債権は、担保・保証や貸倒引当金により78.63%保全されているほか、内部留保を加えた経営体力6,566百万円によりカバーされております。

- ※金融再生法開示債権は、「貸出金」に加え、「債務保証見返」「未収利息」「仮払金」を対象債権としております。
- ※2023年9月末時点で実施した自己査定に基づき、金融再生法ベースで開示しております。
- ※「破産更生債権等」とは、破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- ※「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取ができない可能性の高い債権です。
- ※「要管理債権」とは、「三月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。

# こどものみらい古本募金

令和5年8月15日から同9月15日までSDGsの取り組みの一環として開催しました「こどものみらい古本募金」については、皆様より1,588冊の古本を寄附していただきました。寄附いただいた古本は、古本買取業者（株）バリューブックス）に送付した結果、16,862円の査定金額となりましたので、古本買取業者を通じて「こどもの未来応援基金」に寄附させていただきます。ご協力いただき心より御礼申し上げます。



「こどもの未来応援基金」はすべての子どもたちが夢と希望を持って成長していける社会を目指す「こどもの未来応援国民運動」の一環としてつくられた基金であり、子どもたちの食や学び、居場所づくり、自立を応援しています。また、SDGsのゴール1「貧困をなくそう」に取り組むことができます。



北上信用金庫Instagram



地元とともに



〒024-0094 岩手県北上市本通り一丁目5番30号  
TEL 0197-63-2307(代) <https://e-shinkin.net/>